

選択肢別回答数

地方上級 横浜市型

教養択一試験

会場＋自宅

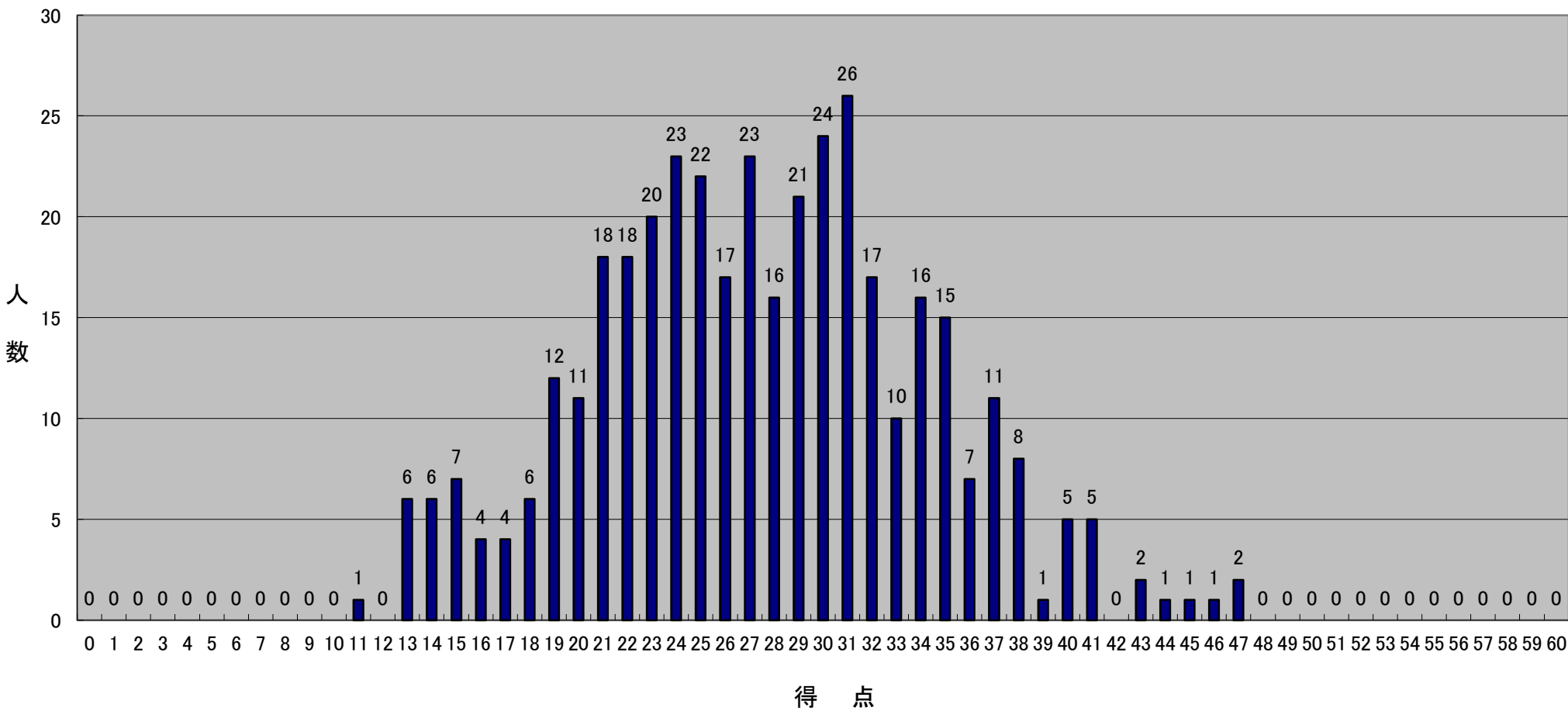
総受験者数 387

2012年04月22日 実施

	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	人文	人文	人文	人文	人文	自然	自然	自然	自然	自然	文章	文章	文章	文章	文章
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17	No.18	No.19	No.20	No.21	No.22	No.23	No.24	No.25	No.26	No.27	No.28	No.29	No.30
肢1	55	103	77	23	46	124	32	138	40	92	57	36	181	30	133	11	158	25	29	43	39	35	70	29	84	5	7	78	2	27
	14.2%	26.6%	19.9%	5.9%	11.9%	32%	8.3%	35.7%	10.3%	23.8%	14.7%	9.3%	46.8%	7.8%	34.4%	2.8%	40.8%	6.5%	7.5%	11.1%	10.1%	9%	18.1%	7.5%	21.7%	1.3%	1.8%	20.2%	0.5%	7%
肢2	36	36	80	15	51	71	55	59	67	47	78	70	48	93	50	54	65	30	43	72	84	87	102	52	54	6	297	126	16	10
	9.3%	9.3%	20.7%	3.9%	13.2%	18.3%	14.2%	15.2%	17.3%	12.1%	20.2%	18.1%	12.4%	24%	12.9%	14%	16.8%	7.8%	11.1%	18.6%	21.7%	22.5%	26.4%	13.4%	14%	1.6%	76.7%	32.6%	4.1%	2.6%
肢3	60	16	90	57	215	36	98	105	78	41	130	44	107	70	99	139	47	175	111	183	92	119	56	53	179	288	60	51	164	60
	15.5%	4.1%	23.3%	14.7%	55.6%	9.3%	25.3%	27.1%	20.2%	10.6%	33.6%	11.4%	27.6%	18.1%	25.6%	35.9%	12.1%	45.2%	28.7%	47.3%	23.8%	30.7%	14.5%	13.7%	46.3%	74.4%	15.5%	13.2%	42.4%	15.5%
肢4	115	69	16	12	51	99	99	49	79	164	79	209	39	58	53	123	77	101	40	27	120	76	74	139	29	86	14	19	20	59
	29.7%	17.8%	4.1%	3.1%	13.2%	25.6%	25.6%	12.7%	20.4%	42.4%	20.4%	54%	10.1%	15%	13.7%	31.8%	19.9%	26.1%	10.3%	7%	31%	19.6%	19.1%	35.9%	7.5%	22.2%	3.6%	4.9%	5.2%	15.2%
肢5	115	159	122	279	22	53	97	28	116	40	35	16	9	131	48	58	39	51	161	59	37	58	82	112	37	0	8	107	180	226
	29.7%	41.1%	31.5%	72.1%	5.7%	13.7%	25.1%	7.2%	30%	10.3%	9%	4.1%	2.3%	33.9%	12.4%	15%	10.1%	13.2%	41.6%	15.2%	9.6%	15%	21.2%	28.9%	9.6%	0%	2.1%	27.6%	46.5%	58.4%
正 答	5	5	5	5	3	1	5	1	4	2	3	4	1	5	1	#	1	3	5	3	4	5	2	4	3	3	2	2	5	5
正答者数	115	159	122	279	215	124	97	138	79	47	130	209	181	131	133	387	158	175	161	183	120	58	102	139	179	288	297	126	180	226
正答率(%)	29.7%	41.1%	31.5%	72.1%	55.6%	32%	25.1%	35.7%	20.4%	12.1%	33.6%	54%	46.8%	33.9%	34.4%	100%	40.8%	45.2%	41.6%	47.3%	31%	15%	26.4%	35.9%	46.3%	74.4%	76.7%	32.6%	46.5%	58.4%
選択率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	文章	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	文章	文章	文章	文章	文章	数処	数処	数処	数処	数処
	No.31	No.32	No.33	No.34	No.35	No.36	No.37	No.38	No.39	No.40	No.41	No.42	No.43	No.44	No.45	No.46	No.47	No.48	No.49	No.50	No.51	No.52	No.53	No.54	No.55	No.56	No.57	No.58	No.59	No.60
肢1	33	8	18	182	34	14	42	31	116	47	25	6	44	19	33	39	70	62	58	60	6	3	16	54	239	31	52	36	54	27
	8.5%	2.1%	4.7%	47%	8.8%	3.6%	10.9%	8%	30%	12.1%	6.5%	1.6%	11.4%	4.9%	8.5%	10.1%	18.1%	16%	15%	15.5%	1.6%	0.8%	4.1%	14%	61.8%	8%	13.4%	9.3%	14%	7%
肢2	16	44	50	11	45	198	46	168	62	81	227	145	82	125	65	193	136	45	53	211	20	35	208	23	21	17	76	91	59	28
	4.1%	11.4%	12.9%	2.8%	11.6%	51.2%	11.9%	43.4%	16%	20.9%	58.7%	37.5%	21.2%	32.3%	16.8%	49.9%	35.1%	11.6%	13.7%	54.5%	5.2%	9%	53.7%	5.9%	5.4%	4.4%	19.6%	23.5%	15.2%	7.2%
肢3	245	82	245	42	27	77	202	81	56	33	19	49	53	27	186	49	75	30	170	80	341	7	55	24	39	308	69	124	147	100
	63.3%	21.2%	63.3%	10.9%	7%	19.9%	52.2%	20.9%	14.5%	8.5%	4.9%	12.7%	13.7%	7%	48.1%	12.7%	19.4%	7.8%	43.9%	20.7%	88.1%	1.8%	14.2%	6.2%	10.1%	79.6%	17.8%	32%	38%	25.8%
肢4	37	244	48	36	81	69	56	68	98	52	79	122	128	65	60	46	81	186	78	14	13	10	64	40	64	24	101	78	54	160
	9.6%	63%	12.4%	9.3%	20.9%	17.8%	14.5%	17.6%	25.3%	13.4%	20.4%	31.5%	33.1%	16.8%	15.5%	11.9%	20.9%	48.1%	20.2%	3.6%	3.4%	2.6%	16.5%	10.3%	16.5%	6.2%	26.1%	20.2%	14%	41.3%
肢5	45	8	24	109	196	19	32	25	36	168	34	63	75	146	39	53	21	60	24	19	5	329	37	239	15	4	71	45	57	67
	11.6%	2.1%	6.2%	28.2%	50.6%	4.9%	8.3%	6.5%	9.3%	43.4%	8.8%	16.3%	19.4%	37.7%	10.1%	13.7%	5.4%	15.5%	6.2%	4.9%	1.3%	85%	9.6%	61.8%	3.9%	1%	18.3%	11.6%	14.7%	17.3%
正 答	3	4	3	1	5	2	3	2	1	5	2	3	4	2	3	2	1	4	3	2	3	5	2	5	1	3	5	3	3	4
正答者数	245	244	245	182	196	198	202	168	116	168	227	49	128	125	186	193	70	186	170	211	341	329	208	239	239	308	71	124	147	160
正答率(%)	63.3%	63%	63.3%	47%	50.6%	51.2%	52.2%	43.4%	30%	43.4%	58.7%	12.7%	33.1%	32.3%	48.1%	49.9%	18.1%	48.1%	43.9%	54.5%	88.1%	85%	53.7%	61.8%	61.8%	79.6%	18.3%	32%	38%	41.3%
選択率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

得点分布グラフ



上位者ランキング

順位	会員番号	受験番号	得点	受験地
1	0101747627	160026	47	渋谷
1	0194625095	280105	47	横浜
3	0100376228	190059	46	横浜
4	0104378404	260080	45	横浜
5	0104327604	280048	44	横浜
6	0100365728	170025	43	渋谷
6	0104571304	280222	43	横浜
8	0100024438	190151	41	自宅
8	0101274409	170041	41	渋谷
8	0103310824	090080	41	渋谷
8	0104369604	260006	41	横浜
8	9100862307	180176	41	渋谷
13	0100374828	200057	40	渋谷
13	0103886807	150099	40	渋谷
13	0104363704	270005	40	横浜
13	0104416204	280086	40	横浜
13	0103217724	090085	40	自宅
18	0102742205	910719	39	渋谷
19	0100746209	100005	38	渋谷
19	0101614216	240110	38	渋谷
19	0101669016	090093	38	横浜
19	0101713227	180095	38	渋谷
19	0103403324	100070	38	横浜
19	0104362804	270166	38	横浜
19	0104401004	280045	38	横浜
19	9102951512	910672	38	自宅

TAC公務員講座 第4回公開模試（地方上級 横浜市型） 講評

I. 教養択一試験

- 1. 社会科学** 教養試験の社会科学の中で法律科目が問われる。教養試験といっても他の職種の専門試験並みのレベルの問題が出題されるのが横浜市の特色である。以下個別の問題についてみていく。まず、憲法については「思想・良心の自由」に関して近時の判例に動きがあるので、その意味で【No.4】は要注意である。特にピアノ伴奏拒否訴訟（肢 4）は再度確認しておくこと。統治に関しては財政に関するNo.5 について特に予算の基本事項を確認しておくこと。次に行政法は概念の整理問題に注意すること。その意味で行政行為に関するNo.6 は要注意である。また、行政契約に関しても近時の判例に動きがあるので【No.42】は要注意である。さらに民法については基本事項を確認しておくこと。【No.7】の時効の援用権者と【No.43】の法定地上権の問題は判例を確認しておくこと。法定地上権は同一所有者の要件がポイントである。最後に、労働法についても 1 問出題されるのも特色であるので、【No.44】の賃金については基本事項を確認しておくこと。
- 2. 人文科学** 日本史・世界史・地理で 4～5 問の出題である。日本史はテーマ史が要注意である。世界史はアジア史のうち、欧米との関係性が高いものが要注意である。時代に偏らずバランスよく出題される。地理は特定の範囲に限らず、まんべんなく出題が見られる。そのため体系的な学習を心掛ける必要がある。
- 3. 自然科学** 基本から標準レベルからの出題である。【No.20】～【No.24】は、いずれも基本的な問題である。【No.22】のルシャトリエの原理での触媒の扱いに注意してもらいたい。また、【No.25】は、天気予報などで天気図を見慣れていないと解くことはできない。5 問中 4 問以上は正答を得たい。
- 4. 文章理解** 文章理解からの出題は内容把握問題が多い。本試験では英文趣旨把握問題が出題されるのが特徴なので、日頃から英文に慣れておきたい。数的処理の苦手な人は文章理解で 8 割程度得点できるとよいだろう。内容としては素直に趣旨を読み取らせるものが多く、基礎力が試されるものが多い。筆者が何を述べようとしているのか、自分なりにまとめる練習をしておくことよい。
- 5. 数的処理** 今回の模試は、基本を再確認してもらうために、難易度をやや低めに設定した。【No.32】（正六面体の展開図）、【No.33】（サイコロ）も、平易な問題であり、空間把握を苦手とする人でも得点できるはずである。【No.34】（ベン図）、【No.35】（すれ違い）は平易な問題である。これらを落とすと厳しいだろう。【No.37】（剰余）は他の試験種でも頻出であるので、できなかった人はしっかり復習してもらいたい。【No.40】（三角グラフ）は、出題頻度こそ低いものの、忘れたところに出現するので、注意が必要である。【No.58】（不定方程式）は、他の試験種でも出題頻度が高い。間違った人は、不定方程式の基礎から復習し直してもらいたい。以上の点を踏まえると、14 問中 9 問以上正解できれば、合格レベルと考えてよい。

II. 専門時事論文試験

- 1. 法律** 近時の時事論文は小問形式に分かれるのが特色である。原発事故を受けて原発に対する司法審査が改めて問題となっている。そこで、この点についての基本事項を問うてみた。小問 1 については、行政裁量が必要なこと、行政裁量を無制限に肯定すると法律による行政の原理との関係で問題があることを示してほしい。両者の関係が整理されていない印象を受けた。小問 2 については、伊方原発訴訟における判例の審査が、あまりに行政庁の判断を尊重しすぎているかという問題意識を示せるとよいだろう。原告適格についての記述は求められていないことに注意すること。
- 2. 経済** 横浜市の専門時事論文は、近年小問 2 題を出題する形式となっており、(1) は理論の説明、(2) は (1) で説明した理論に基づく時事的内容を論じさせる問題となっている。本模試もその出題形式に即してテーマを設定している。本模試では、完全競争市場と独占的競争市場の比較をおこない、政府が知的財産権の保護をおこなうことの意義を問う内容を出題した。近年、新興国経済がかつての日本と同様に世界の工場として役割を担うようになり、日本の産業の在り方が変わってきている。そのような状況下で、政府は何に対してどのように働きかけることで、日本経済を成長させられるかを考えて記述したい。
- 3. 政治** (1) については、政治的リーダーシップの種類の整理された知識を覚えているかどうかに基づいている。受験者の多くは合格水準の答案を記述できていたように思われる。しかしながら(2)については、多くの受験者の記述は(1)の類型を生かすことができず、おおむね印象批評（例：「このような閉塞状況のわが国には強いリーダーが必要だ」のような内容）にとどまっている。この点については、たとえば強いリーダーの長所・短所などを指摘して（とくに創造的リーダーシップと投機的リーダーシップの類型に依拠しながら）、選び出す側の有権者には何が求められているかについても記述するなど、より政治学的な分析に基づく意見を記述できるように工夫して欲しい。
- 4. 社会** (1) が適切に書かれていない答案が多く見られた。特に、ソーシャルネットワークや、インフラ的な意味での「社会資本」との混同がみられた。今回のように、(1) で専門用語を説明して (2) でそれに基づいた議論を展開するという形式の問題の場合、(1) が不適切だと (2) も的外れな内容になり、丸ごと駄目な答案となってしまう。問題を選択する時点でよく考えるべきである。また、(2) については一般論を述べるのではなく、できれば神奈川県や横浜市にひきつけた形で書いた方がよいだろう。
- 5. 経営** 経営学は選択する受講生自体が少数なこともあり、選択した受講生はその多くはある程度、経営学の記述に自信のあった方が多かったと思われる。そのためかポーターの 3 つの競争戦略については、きちんと記述できていた受講生が多かった。しかし、同質化戦略とブルー・オーシャン戦略については、記述できていない受講生が多かった。横浜市の経営学記述では時事的な経営学の用語が出題されることが多いため、ブルー・オーシャン戦略などの時事的な用語は意義だけでも良いのでマスターしておいてもらいたい。

平成24年4月21日(土)～23(日)実施

★ TAC公務員講座 第4回公開模試 結果データ ★

【地方上級 横浜市型】

	平均点	受験者数	科目	問題番号	科目平均点
教養択一	27.4点	387名	社会科学	1～15 41～50	9.6点
			人文科学	16～20	2.8点
			自然科学	21～25	1.6点
			文章理解	28～31 51～55	7.0点
			数的処理	32～40 56～60	6.5点
総合成績	27.42点	387名	—	—	—
専門論文	※平均点を出していません	287名	—	—	—

※本表の総合成績の平均点は、教養択一の得点で算出しております。